

# 施設概要

(令和5年4月1日現在)

施設名 <b>白井コミュニティセンター</b>		開館時間 午前9時～午後9時		
所在地	〒270-1422 白井市復1458-1	併設施設	白井児童館	
TEL	047-491-1505	FAX	047-491-1503	
メール	<a href="mailto:mail@shiroi-com10.com">mail@shiroi-com10.com</a>			
休館日	火曜日・国民の祝日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	敷地内17台（身障者用含）第2駐車場30台程度	
職員構成 R5年4月現在	センター長1名 事務職1名（非）事務職2名 児童厚生員1名（非）児童厚生員3名（非） 夜間管理2名（非）学習支援者1名（非）清掃員1名 合計12名			
貸出施設	1時間あたりの施設使用料（社会教育認定団体は2分の1）			
	施設名	定員	9:00～21:00 付帯設備	
	和室1	18名	250円	座卓・座布団
	和室2	18名	250円	
	調理室	24名	720円	テーブル4台・椅子24脚・調理用具1式・ホワイトボード
	会議室1	30名	350円	机・椅子・音響設備・ホワイトボード・可動式スクリーン（会議室2）・可動式演台
	会議室2	30名	350円	
	工芸室	12名	350円	机3台・椅子18脚・ホワイトボード
	多目的ホール	200名	970円	卓球台4台・音響設備・可動式舞台6台・バドミントン用支柱・バドミントン用ネット・得点版・卓球用ネット・可動式ホワイトボード
	陶芸窯使用料			
陶芸窯	1回の使用につき 3,790円		棚板・支柱	
<b>*営利目的使用の場合は、上記金額の3倍となります。*</b>				
その他施設	2色刷り印刷機・アートスペース1階・2階			
貸し出し 可能備品	館内限定：TV・プロジェクター・DVDブルーレイプレイヤー・延長コード・CDラジカセ・プロジェクターワゴン・陶芸用具一式・可動式ホワイトボード			

## 令和4年度 公民館等団体別利用状況 (白井コミュニティセンター)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		窯	合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		件数	人数
4	11	132	96	873	2	10	0	0	26	864	15	47	10	150	1,926
5	13	194	88	718	2	12	0	0	19	112	15	42	17	137	1,078
6	29	417	78	690	2	12	0	0	29	232	12	55	4	150	1,406
7	17	476	96	1,035	1	7	0	0	15	74	16	53	8	145	1,645
8	13	149	77	605	0	0	0	0	40	1,697	17	69	2	147	2,520
9	11	151	82	670	2	13	0	0	20	150	10	45	12	125	1,029
10	15	228	102	841	2	11	0	0	35	327	12	58	0	166	1,465
11	14	219	88	680	2	17	0	0	21	161	12	49	4	137	1,126
12	14	371	82	701	1	5	0	0	19	170	5	11	13	121	1,258
1	12	192	83	640	1	9	0	0	20	234	8	41	0	124	1,116
2	16	302	83	681	2	15	3	8	21	211	10	93	5	135	1,310
3	18	345	101	832	3	35	0	0	29	1,747	6	127	0	157	3,086
合計	183	3,176	1,056	8,966	20	146	3	8	294	5,979	138	690	75	1,769	18,965

### 令和4年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
会議室1・2	121	3,599	12.4
会議室1	82	536	5.5
会議室2	128	1,033	10
和室1・2	155	1,308	10.5
和室1	112	481	6.3
和室2	3	60	0.4
調理室	101	699	7.5
工芸室	168	1,347	13.6
電気陶芸窯	75	0	0
多目的ホール	824	9,902	47.6
合計	1,769	18,965	

# 令和4年度 白井コミュニティセンター 事業報告

## ●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

## ●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画後期基本計画から抜粋）

### 戦略1「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを感じるまちづくり
- ・働く場を生み出すまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

### 戦略2「みどり活用プロジェクト」

- ・「かかわれる農」のまちづくり
- ・みどりを育み活かすまちづくり

### 戦略3「拠点創造プロジェクト」

- ・都市拠点がにぎわうまちづくり
- ・地域拠点でつながる健康なまちづくり
- ・拠点を結ぶまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

## 1. 運営方針

### （1）全体の運営方針

テーマ:活動拠点として（ここからはじめよう）利用者の平等な利用とサービス向上に努め、効率的な管理運営を行う。併せて地域の拠点として、市民と行政と団体とのコーディネーターの役割を担い、「わがまち白井」を合言葉とし、まちづくりに参加・協働する。課題に対しては、アンケートや利用団体連絡協議会等で話を伺いながら、センター内で共有・検討し、少しでも参加者が増えるよう努めます。

### （2）分野別方針

	運営目標
市民の連帯意識の向上 (1)	①地域の拠点として市民交流や世代間交流を推進する ②市民や自治会等コミュニティ事業へ施設提供を図る ③利用団体の発表の場を推進する ④地域文化を知り、地域に愛着を持つ意識づくり
地域コミュニティの活性化 (2)	①市民の地域活動育成を推進する ②拠点として地域住民の利用を推進する ③地域文化・食文化を推進する ④市民団体や市と連絡調整しコミュニティを図る

趣味や生きがいづくりの向上 (3)	①陶芸窯・アートスペースの利用を促進する ②各種スポーツ（館内で出来るもの）を推進する ③趣味や生きがいづくりを推進する ④心豊かで、穏やかな生活を送るきっかけを作る
----------------------	--

(3) 令和4年度 重点に実施した項目（講座・事業など）

地域交流・世代間交流や文化交流に力を入れ、日常生活を豊かにする

## 2. 公民館 講座等実施報告

### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	参加人数
市民の連帯意識の向上 (1)	結ぶ・包む ふろしき講座	①④	1回 10人
	花壇の花植 (今井の桜保全プロジェクト)	①②	1回 3人
	金山落生き物観察会 (今井の桜保全プロジェクト)	①②	回 雨天中止
	金山落・下手賀沼小森揚水機 場周辺の外来水生植物駆除事業 (今井の桜保全プロジェクト)	①②	4回 延べ111人
	金山落の桜並木をクリーンアップ (今井の桜保全プロジェクト)	①②	1回 42人
	いざという時に役立つ救助法 ～自衛隊編～	①②	1回 10人
地域コミュニティの活性化 (2)	まち歩き、クイズ・インクゲーム	①②	1回 24人
	眠りのアロマを使って ～アロマセラピーを学ぼう～	①②③	1回 12人
	バランスボール エクササイズ	①②	3回 延べ56人
	お正月飾りをつくろう	②③	1回 9人
	季節を彩る和菓子づくり	②③	1回 13人
	サロンクローバー (地区社協と共催)	①②④	3回 延べ70人
	白井の梨を知り 学び もっと好きになる	③	1回 4人
	第5回ワーキング・キッズ・アドベンチャー (W・K・A)	①④	1回 347人
	W・K・A説明会	①④	1回 11社16人
	W・K・A反省会	④	1回 5人

趣味や生きがい づくりの向上 (3)	陶芸講座 「手び練りで角皿づくり」	①③④	3回	延べ18人
	太極拳で心とからだを リフレッシュ	②③④	3回	延べ55人
	はじめての絵手紙・夏	③④	1回	8人
	出張！超音波骨密度測定器で 骨粗しょう症予防（なるほど講座）	④	1回	4人
	DIY体験講座	③④	1回	7人

## (2) 講座以外に行った事業

- ・春のそろばん祭り（4月）（後援事業）
- ・夏のそろばん祭り（8月）（後援事業）
- ・コミセンフェスティバル
- ・利用団体連絡会

## (3) 情報の提供

- ・コミュニティセンターで実施する事業の情報提供  
（広報しろい・ホームページ・ブログ・フェイスブック・インスタグラム・コミセン通信  
市内公共施設にポスター掲示・チラシ配布）
- ・コミセン通信を白井第一小学校、白井中学校・白井保育園・ひまわり保育園から各家庭に配布）
- ・コミセン通信を近隣住宅配布、白井・下長殿自治会の各班で回覧、近隣商店に設置

## (4) 施設の提供

- ・利用者に平等・公平な施設の利用促進、貸館業務の充実
- ・地域のコミュニティの核となる場所の提供

## (5) 「withコロナ」「afterコロナ」時代に向けた対応

- ・市内施設で統一したガイドライン対応が出来よう取り組む

事業活動

事業名	陶芸講座「手ひねりでお皿づくり」全3回		
対象	市内在住・在勤一般		
参加人数	延べ18名		
事業の課題と目標			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でおうち時間が増えた</li> <li>・手作りのお皿で食卓に彩を添える</li> <li>・感染症に気を付け、自己管理をしながら作業をすること</li> <li>・陶芸を作陶したことがない人が多い</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で作陶する楽しさを味わう</li> <li>・素焼きから絵付けをし、本焼きをする</li> <li>・絵付けをした色が本焼き後、どんな色に変化するかを楽しむ</li> <li>・陶芸に興味を持ってもらうこと</li> </ul>		
期間	①令和4年4月27日	②5月11日	③5月18日
場所	工芸室		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症防止に気を配り、楽しくできることを心掛けた</li> <li>・参加者の工程に遅れが出ないよう、作業工程を見守った</li> <li>・陶芸が初めての人が多く、講師と相談しながら作業を進めた</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸が初めての参加者が多かったが、講師がわかりやすく指導してくれたので、喜んでいました</li> <li>・本焼き焼成後、割れた作品もなく、無事に参加者に作品を渡せた</li> <li>・陶芸に興味を持ってもらえた</li> <li>・物を作る作業は夢中になることが改めて感じられた</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した一人が指示を聞かず他の物を作るので困りました</li> </ul>		

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月27日	成形：手ひねりでお皿の形をつくる。その後、十分に乾燥させる。素焼き：自然乾燥された後の素地に含まれた水分を除去するため、無釉のまま一度焼きます。	ろくろの上の粘土に集中して成形する。 出来上がりの達成感を楽しむ事
2	5月11日	下絵付け：お皿に絵を描く場合はここで書き入れる 釉薬かけ：陶器の表面に好きな色の釉薬をかける 本焼き：土が完全に焼き締まるまで高い温度で焼き、実用に耐えられるようにする	陶芸（土）に触れ、想像力・感性を育み、表現する楽しさを知ってもらうこと
3	5月18日	窯出し：窯出しは講師が行う窯内の温度が高く、作品自体が完全に冷めていない場合もある為、十分注意をすること 鑑賞：参加者同士の作品を鑑賞する	陶芸（土）に触れ、想像力・感性を育み、表現する楽しさを知ってもらうこと

事業活動

事業名	太極拳で心と身体をリフレッシュ！		
対象	市内在住・在勤		
参加人数	延べ55人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やってみたい初心者の方が多い</li> <li>・ 日常生活の中でリフレッシュをする機会をつくるには</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太極拳初心者の方を対象にした体操教室</li> <li>・ 日常生活・仕事・子育て等で疲れた心と身体をリフレッシュしていただくこと</li> </ul>		
期間	①6月3日 ②6月10日 ③6月17日	回数	全3回
場所	多目的ホール		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初心者の方の講座の為、講師と数日打合せを行った</li> <li>・ 初心者でもできる技でいくつか練習をして、その技をつなぎ合わせ曲に合わせて体を動かせるように練習する</li> <li>・ 途中に座学を入れ歴史や楽しみ方を教わる</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師と3名の助手の方が個別にわかりやすく指導していた。</li> <li>・ 10人募集に対して、申し込みが殺到したため、20名での講座になった。</li> <li>・ 参加者から、「参加してよかった」「楽しかった」「太極拳を続けて行きたい」との声を頂いた。</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月3日	3日間の流れ・注意事項・太極拳の特徴 準備体操①予備式(ユ-ベ-イ-シ-ン) ②起勢(フ-シ-ン) ③手揮琵琶(シヨウ ホイ ビ-バ) ④倒巻(ダウ-ル-マ-ツ-ル) ⑤⑥⑦⑧後習	ゆったりとした動きで無理なく楽しく太極拳を体験すること。インナーマッスル(体幹)や心拍数を上げずに楽しく筋肉を鍛えること。日々の暮らしに元気を。
2	6月10日	準備体操 ①～③の復習 ④ダオジンゴン ⑤野馬分争(エマフシヨウ) ⑥単鞭(ダンビ-ン) 座学 太極拳と健康 表演 24式太極拳 整理 体操	ゆったりとした動きで無理なく楽しく太極拳を体験すること。インナーマッスル(体幹)や心拍数を上げずに楽しく筋肉を鍛えること。日々の暮らしに元気を。
3	6月17日	準備体操 ⑤⑥⑦十字手(シ-ズ-シヨウ) ⑧収勢(シヨウ-シ-ン) 入門①～⑧を通して行う 座学 太極拳の 楽しみ方 表演	ゆったりとした動きで無理なく楽しく太極拳を体験すること。インナーマッスル(体幹)や心拍数を上げずに楽しく筋肉を鍛えること。日々の暮らしに元気を。

事業活動

事業名	はじめての絵手紙・夏		
対象	市内在住・在勤・一般		
参加人数	8人		
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな人にも描けることを知らない</li> <li>・一枚のはがきから可能性が広がること</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一枚のはがきから可能性を広げ、交流すること</li> </ul>		
期間	7月22日(金)	10:00~12:00	回数 1階
場所	会議室2		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用するには「絵手紙協会」からレンタルして行った</li> <li>・夏野菜の中から「トマト」「パプリカ」「甘長唐辛子」の3種を選んだ</li> </ul>		
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての方はかなりで、内容についていけるか確認しながら見守った</li> <li>・コロナ禍での開催で気温が高く、熱中症も心配だったので、体調の悪い方は、すぐに報告してもらいようお願いした</li> <li>・当初の予定では2時間で2作品の予定だったが、皆さん手際が良く、早くしあがったのでもう1作品仕上げてもらい、最後に貼り出して鑑賞しながら感想や成果を述べてもらった</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月22日	絵手紙とは絵のある手紙であること。自分の絵手紙づくりを楽しむこと。絵手紙作成の準備、①用具の準備、②ハガキに輪郭を描く・ハガキの置き方③ハガキに採色④言葉を書く⑤自分の名の印を押して絵手紙の完成⑥ポスト投函	一枚のはがきに力を抜いて、文字や絵を描くのが苦手でも大丈夫。のびのび楽しく書くこと

事業活動

事業名	出張！超音波骨密度測定で骨粗しょう症予防		
対象	市内在住・在勤		
参加人数	4人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段は自分の骨密度を計っていない</li> <li>・骨の状態がわからない</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の骨の状態を知ること</li> <li>・骨粗しょう症予防</li> </ul>		
期間	8月19日(金)	10:00~12:00	回数 1階
場所	会議室2		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく説明していただくようお願いした</li> </ul>		
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱心に聞いていた</li> <li>・参加者が少なかったため、一人一人と話をしながら詳しく丁寧に説明してくれた</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	8月19日	ロコモティブシンドローム予防のために必要な運動や食生活についてなど詳しく説明をした。実際に予防の為の運動の一つ「スクワット」をした。骨密度測定	骨粗しょう症予防

事業活動

事業名	結ぶ・包む ふろしき講座		
対象	市内在住在勤一般		
参加人数	10人		
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動の主な要因である地球温暖化防止</li> <li>・「リユース」の必要性</li> <li>・古くからの日本人の知恵を今一度考える</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風呂敷の存在を改めて知り、マイバッグの代わりに</li> <li>・温暖化防止に協力</li> </ul>		
期間	9月22日(木)	10:00~11:30	回数 1階
場所	会議室2		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふろしきの歴史について資料を配布</li> <li>・以前からしかなかった講座で、やっと講師が見つかりました</li> <li>・ふろしきの大きさが合わない方へ貸し出しをした</li> <li>・日頃の癖でどうしても縦結びになってしまう方への補助</li> </ul>		
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「レジ袋有料化」に伴い、日本の伝統的な風呂敷がエコバッグとして注目</li> <li>・色々な結び方を楽しんで学べた</li> <li>・環境にやさしい日本古来の布の再発見</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	9月22日	<p>①風呂敷のサイズ ②風呂敷の歴史と由来 ③風呂敷は地球にやさしい ④包み方：平包み 一つ結び 二つ結び 巻き包み 引っ掛け結び バナナ結び 一一本巻き(一升瓶) 二本巻き 三本巻き 夫婦つる(ワイン)等々</p>	「レジ袋有料化」に伴い、日本の伝統的な風呂敷がエコバッグとして注目されていること、

事業活動

事業名	まち歩きログ ینگゲーム		
対象	市内在住・在勤		
参加人数	24人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力を発見し、まちづくり活性化に生かすこと</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を知らない</li> <li>・地域の魅力を知らない</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力を発見し、まちづくり活性化に生かすこと</li> </ul>		
期間	10月23日(日) 13:30~16:00	回数	1階
場所	多目的ホール・コミセン周辺		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミセンが起点で終点の為、時間内に帰るよう全員に伝える</li> <li>・ログ ینگ のカードとルールの説明</li> <li>・ログ ینگ とは、元々アウトドアスポーツであること</li> <li>・指令カードの作成</li> </ul>		
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミセンスタッフも「まち探検」に参加</li> <li>・「お題」に書かれたものを探していると、色々な発見があった。</li> <li>・参加した皆さんもゲームを通して色々と学び、とても良い経験をしたとの声があった</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	10月23日	まち歩きをしながら、地域資源を掘り起こし、新しい価値を創生するため。チームで参加、点数を競う為、それぞれ参加のチームビルディングも期待している。	まちづくり活性化に寄与する

事業活動

事業名	今井の桜保全プロジェクト	
対象	市内在住・在勤一般	
参加人数	延べ156人	
事業の課題と目標		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今井の桜」という市内桜の名所にもかかわらず、老朽化・樹木の病気が進み元気な木が少ない</li> <li>・集中豪雨などで名内川が氾濫することを知られていない</li> <li>・学区外や若い人たちに知られていない</li> </ul>	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今井の桜並木の現状を広く市民や近隣の人に把握してもらうこと</li> <li>・原風景を後世に残すことを考えるきっかけ作り</li> </ul>	
期間	令和4年4月～令和5年3月	回数 4回
場所	今井の桜並木（名内川）・下手賀沼・コミセン花壇（環境）	
事業参加者への配慮等		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川（金山落）に落ちないように注意を促し、親と一緒に心を配った</li> <li>・花壇が道路沿いにあるので、安全管理に気を配った</li> <li>・白井高校にスタッフで説明に行き、外来生物植物駆除に白井高校生17人と先生4人参加した</li> </ul>	
事業の成果（課題や目標に対して）		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちが環境に興味を持ってもらうこと</li> <li>・高校生が夢中になって作業してくれた</li> </ul>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人フラットに通っている子どもたちと一緒に作業をします</li> <li>・手賀沼流域フォーラム・こどもエコクラブ合同企画</li> </ul>	

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月15日	花壇の草むしり等の手入れをしたのち、社会福祉法人フラットで生産した花ポットを子供連やスタッフと花壇に植える	花を通じて地域との交流を図る
2	雨天中止 9月24日	金山落（今井の桜並木）生き物観察会～みてみよう！ふれてみよう！川と沼の中のいのちの賑わい～名内川に仕掛けを入れ、また近くの小川で網を使い魚を捕る	小学生親子に馴染みの薄い手賀沼に関心を持ってもらうと共に、今井の桜並木の保全が急務であることを知ってもらうこと
3	11月1日～4日	～下手賀沼外来水生植物駆除～名内川から下手賀沼の揚水機場周辺に繁茂している「ナガエツルノゲイトウ」（特定外来生物）を駆除	駆除することにより、機場内に流入し田んぼへの侵入防止、白井市民へ繁茂の現状と課題について啓発する
4	11月27日	名内川沿い（今井の桜並木）をみんなで一緒にゴミ拾い。金山落の土地改良事業進捗状況を説明。ナガエツルノゲイトウ繁茂の現状と今後の取組について説明する。	市民に、金山落の土地改良事業の進捗状況を説明し、今井の桜並木の存続方法に関心を持ってもらうこと。

事業活動

事業名	しろいの梨を知り しろいの梨を学び もっと好きになる		
対象	市内在住・在勤一般		
参加人数	4人		
事業の課題と目標			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市特産の梨について詳しく知らない</li> <li>・しろいの梨は何で有名か？</li> <li>・後継者不足</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梨の歴史を知ってもらうこと</li> <li>・梨を知り、梨を好きになってもらうこと</li> </ul>		
期 間	10月28日（金）10：00～11：30	回 数	1階
場 所	会議室2		
事業参加者への配慮等			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者に梨の歴史をわかり易く伝えるには、講師と打合せを数回する</li> <li>・梨の特産化の時期は何時ごろからなのかを伝える</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて知ったことも多く熱心に聞いていた</li> <li>・梨のでき始める時期に開催していただきたいとの声が多くあった</li> <li>・歴史や近年の梨の生産量などについて、スライドを見ながら説明を受けた</li> </ul>		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでは全員とても満足してた</li> </ul>		

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	10月28日	しろいの梨の概要、しろいの梨の歴史（黎明期・確立期・成長期） 白井は戦後直ぐに梨を特産化できた 日本梨の栽培面積 しろいの梨の現在のしろいの梨の未来？	しろいの梨を知り、梨を好きになってもらうこと

事業活動

事業名	眠りのアロマを使って ～アロマセラピーを学ぼう～		
対象	市内在住・在勤一般		
参加人数	12人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝たいのに眠れない方</li> <li>・自律神経について聞きたい方</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りで「眠りに導くアロマ」を作る</li> </ul>		
期間	11月19日(土)	10:~11:30	回数 1階
場所	調理室		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りアロマに使用する保冷剤は職員の家にあるものを使用</li> </ul>		
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師が質問を交えて話をしてくれたので、参加者の人が自然と近くの人と話したり、質問しあったりとても雰囲気の良い講座になった</li> <li>・アロマグッズも皆、満足したようで笑顔で帰っていった</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月19日	①アロマセラピーとは②AEAJによるアロマセラピーの定義③アロマセラピーの源流と現在の広がり④精油とは⑤AEAJによる精油の定義アロマレックスンに必要な品①精油②体験用	心と身体のリラックスやリフレッシュを促すこと。心と身体の健康を保ち、豊かな毎日を過ごすこと。

事業活動

事業名	バランスボールエクササイズ全3回		
対象	市内在住・在勤一般		
参加人数	延べ56人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体のメンテナンスを行う</li> <li>・有酸素運動をしてない</li> <li>・どんなに眠っても体がスッキリしない</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力不足を補うこと</li> <li>・身体をメンテナンスすることで心を変える</li> </ul>		
期間	12月2日・9日・16日（金）10：30～12：00	回数	全3回
場所	多目的ホール		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスボールの数を揃えるため家にある人は持ってきた</li> <li>・募集よりも5人増えたため、講師と打合せをした</li> <li>・年配の方も参加していたので、転がらないか気にかけて</li> <li>・申込時に医師から運動制限を受けていないか確認した</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手軽に楽しく有酸素運動をして、健康な体づくりを知ってもらった</li> <li>・参加者から「楽しかった」「運動不足が解消された」「リフレッシュができた」との声を頂いた</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	12月2日	なぜバランスボールを推奨するのか？①ゆがみの解消・腰痛予防②疲労物質が発生しにくい	身体をメンテナンスして健康な体づくりを旨すこと
2	12月9日	③アウトマッスルとインナーマッスルを同時に強化④手軽に運動ができる	身体をメンテナンスして健康な体づくりを旨すこと
3	12月16日	身体をはずませる有酸素運動は、自律神経とホルモンバランスを整える。脳も活性化し免疫力は高まり、ストレスから解放される	身体をメンテナンスして健康な体づくりを旨すこと

事業活動

事業名	ワーキング・キッズ・アドベンチャー	
対象	市内小学生	
参加人数	延べ368人	
事業の課題と目標	<p>市内の企業（工業団地・生活圏以外）が住んでいる人に知られていない</p> <p>就職先が市外・首都圏に向いている</p> <p>子供たちに楽しみながら社会の「仕組み」や「職業」を知ってもらうこと</p> <p>子供達の好奇心、自立心をかきたてる現実的な地域（地元）づくり、体験づくり</p> <p>未来を担う人の為の地元企業が協力して、未来を創る機会</p>	
期間	令和4年8月28日（日）9：30～14：30	回数 1回
場所	白井コミュニティセンター	
事業参加者への配慮等	<p>怪我や事故が起こらないよう、全員で気を配った</p> <p>準備、片付け等がスムーズに進むように手配を怠らなかつた</p> <p>来館した子供たちが楽しく学べるように実行委員会で話し合った</p>	
事業の成果（課題や目標に対して）	<p>地域（企業）・学校（白井高校）・行政（産業振興課）・センターとの連携、交流が進みました</p> <p>子供達も色々な会社や、近くに存在することを改めて確認したようです</p> <p>社会の仕組みの一端を感じ取ってもらえた</p> <p>子供達がよりリアルな職業を体験することで、勉強をする意味を知り、学習意欲を育てることの一助になった</p> <p>小学生を対象にしたので、保護者に知ってもらえた</p>	
備考		

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	8月19日	第1回実行委員会（参加企業説明会） 議題：職業体験説明 お仕事掲示板掲載原稿確認 各企業体験持数 バスポート（参加証）見本 予約受付表 各企業駐車スペース確認 使用備品・備品持ち込み品一覧確認 準備・片付け協力企業一覧確認 プース配置図の確認	子供達に楽しみながら社会の「仕組み」や「職業」を知ってもらうこと
2	8月28日	仕事の体験では①職業の内容を伝える～②仕事の「やりがい」「大切にしていること」を伝えてから体験に入るように、他に将来に役立てるよう参加企業が各自で考えた	子供達に楽しみながら社会の「仕組み」や「職業」を知ってもらうこと
3	3月25日	第2回実行委員会 反省会と令和5年に向けて	子供達に楽しみながら社会の「仕組み」や「職業」を知ってもらうこと

事業活動

事業名	お正月飾りをつくろう		
対象	市内在住・在勤一般		
参加人数	9人		
事業の課題と目標	事業の課題と目標 ・手作りでお正月飾りを作ったことがない ・手作りのお正月飾りで新年を迎えること		
期間	12月8日(木)	10:00~12:00	回数 1回
場所	調理室		
事業参加者への配慮等	・材料等大きさなども講師と相談して決めた ・生花だと、お正月まで持たないので、開催時期を考えた ・正月用の花の値段が高騰しているののでアートフラワーにした ・作品が出来上がるまでの作業工程が多い為、遅れる人が出ないよう声かけをした		
事業の成果(課題や目標に対して)	・アートフラワーにして正解でした ・参加費の事前入金をお願いしましたが、スムーズにいきました		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	12月8日	お正月飾りに使われる花材・資材とその意味。流派の基本形はなく、フリースタイルで生ける。	手作りのお正月飾りで、特別な新年を迎えることの手伝い。

事業活動

事業名	市内小学4年生～中学3年生対象「いざという時に役立つ救助法～自衛隊編～」		
対象	市内小学4年生～中学3年生対象（小学生は保護者同伴可）		
参加人数	10人		
事業の課題と目標			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊員に話を聞く機会は少ない</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いざという時に役立つ救助法を学ぶこと</li> <li>・自衛隊の視点で捉えた防災の話を聞くこと</li> </ul>		
期 間	2月4日（土）10：00～12：00	回 数	1回
場 所	多目的ホール		
事業参加者への配慮等			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空のペットボトル2Lを15本用意した</li> <li>・自衛隊員が補助として4人来ていただいた</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊のお仕事や災害時の活動を学んだ</li> <li>・日常生活の中で災害等に直面した時の対処法を学んだ</li> <li>・参加者の目がキラキラしていた</li> <li>・ロープワークの体験では飲み込みが早く、楽しみながら学んでいた</li> </ul>		
備 考			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	2月4日	<p>自衛隊のお仕事、災害時の活動について。大雨や強風、地震が起きた時はどう行動したり、注意したらよいか、スライドを見ながら話を聞いた。ロープワークを体験した。</p>	<p>自衛隊のお仕事や災害時の時、日常生活の中で災害などに直面した時の対処法を学んだ。</p>

事業活動

事業名	季節を彩る和菓子づくり		
対象	市内在住・在勤一般		
参加人数	13人		
事業の課題と目標			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な和菓子を作る機会が普段はない</li> <li>・和菓子を作ってみたい声が多い</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な和菓子づくりを通じて、日本の和の世界を味わい楽しむこと</li> </ul>		
期間	1月28日(土)	10:00~10:30	回数 1回
場所	調理室		
事業参加者への配慮等			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講年齢の幅がとて広いので、楽しく遅れなく出来るか見守った</li> <li>・最初に講師がデモンストラーション方式で季節の和菓子を作成した</li> </ul>		
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい体験ができたとの声が多く聞かれた</li> <li>・季節ごとに行ってほしいなど和菓子に対しての気持ちが変わってきた</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	1月28日	覚えておきたい！歳紙の折り方。慶事と弔事。お菓子とお茶の出し方。①上生菓子(栴)、②きんとん(水仙)。	今回は成形と仕上げのみになります。伝統的な和菓子作りを通じて、日本の和の世界を味わい楽しむこと。

事業活動

事業名	DIY体験講座		
対象	市内在住・在勤		
参加人数	7人（親子一組）		
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DIYを始めたい</li> <li>・DIYに興味があるので教わりたい</li> <li>・モノづくりに興味があるので教わりたい</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DIYを始めまっかづけくり</li> <li>・基本的な木工を体験してもらうこと</li> </ul>		
期間	令和5年2月19日（日）10：00～12：00	回数	1回
場所	工芸室		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インパクトドライバーを持っている方は用意をもらう</li> <li>・今回は「キーフック」を楽しく工作してもらうことにした</li> <li>・講師の方が木材をカットし、下穴を開けたものを用意した</li> <li>・講師とアシスタント2人が、作業の細かいところまで見廻り声をかけていた</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の指示でインパクトドライバーを使って組み立てていた</li> <li>・基本的な木工技術を体験して、DIYを始めまっかづけになった</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	2月19日	「キーフック」の材料を一人ずつ取ってから、講師の話聞きながら、組み立て始めた。	基本的な木工技術を体験して、DIYを始めまっかづけをすること

事業活動

事業名	利用団体連絡会		
対象	利用団体代表者		
参加人数	12人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミセンの年間事業を知ってもらう機会がない</li> <li>・利用者からの要望を共有する機会がない</li> <li>・利用団体が知り合う機会が少ない</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段利用している団体から運営や使い勝手について意見を頂くこと</li> <li>・利用団体の要望を共有して、伺うことができる</li> </ul>		
期 間	令和4年5月21日（土）10：00～11：00	回 数	2回
場 所	会議室1・2		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見が出やすい雰囲気づくり</li> <li>・連絡会の趣旨や目的を伝えて、理解していただき進めている</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者で話し合い、意見交換し、協力し合うことでセンターを拠点として地域の親交が図れた</li> <li>・連絡会が開かれることで、フェスタ実行委員会も協力しながら進められる</li> </ul>		
備 考			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月21日	第1回利用団体連絡会（総会） 令和3年度事業報告、令和4年度事業計画（案）、 令和4年コミセンフェスタ開催について、その他	施設を大事に有効利用してもらうこと。生涯学習や趣味に利用してもらい、健康増進につなげること
2	10月8日	第2回利用団体連絡会 令和4年度事業開催報告、令和4年度事業開催予定、令和4年度コミセンフェスタについて、その他連絡事項	施設を大事に有効利用してもらうこと。生涯学習や趣味に利用してもらい、健康増進につなげること

事業活動

事業名	フェスタ実行委員会		
対象	フェスタ参加団体・協力団体		
参加人数			
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久しぶりのフェスティバル</li> <li>・参加団体の成果発表を来館者に見てもらおうこと</li> <li>・フェスティバルを安全に楽しんでもらうこと</li> </ul>		
期間	令和5年1月14日、2月18日、3月25日（土）	回数	3回
場所	会議室1・2		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加団体同士話し合い、譲り合う気持ちを持ち、協力して開催できるようにした</li> <li>・発表者には気持ちよく発表できるように段取りを確認し準備している</li> <li>・参加者が主体的に活動できるように配慮した</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体連絡会、フェスタ実行委員会で話し合い、より良いセンター運営ができた</li> <li>・準備や当日のお手伝いなどは、実行委員で割り振り、当日のお手伝いだけ参加する団体もいて、みんなが協力して開催する準備ができた</li> </ul>		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	1月14日	第1回フェスティバル実行委員会 団体自己紹介、正・副委員長選出、多目的ホールタイムスケジュール、更衣室について、【展示・販売・体験】場所調整確認、参加団体紹介分の確認、運営協力をお願い	利用団体の成果発表とする。団体同士や地域住民との交流の場とする。
2	2月18日	第2回フェスティバル実行委員会 【演技発表】多目的ホールタイムスケジュールの確認、【更衣室】のお願い、【展示・販売・体験】配置図の確認、備品貸出票の確認、担当作業票の確認、搬入搬出の注意事項、駐車場配置図の確認、参加団体アンケートについて	利用団体の成果発表とする。団体同士や地域住民との交流の場とする。
3	3月25日	第3回フェスティバル実行委員会（反省会）	利用団体の成果発表とする。団体同士や地域住民との交流の場とする。